

～講演会・対談のお知らせ～

中国の外交戦略と日本

大学・民間団体の果たしうる役割を考える

このたび、明治大学の主催（後援：明治大学校友会・連合駿台会）により、中国の外交ブレーンとされる王緝思（ワン・ジースー）・北京大学国際関係学院院長の講演、そして笹川陽平・日本財団会長との対談を行うことになりました。テーマはそれぞれ「中国の外交戦略とその中での日本の位置付け」、「今後の日中関係における大学・民間団体の役割」についてです。皆様、ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：2009年3月25日（水） 16:00～18:30

（受付は 15:30～）

会場：明治大学駿河台キャンパス

アカデミーコモン2階ビクトリーフロア暁の鐘

※ 日本語による通訳があります。

参加無料

申込み不要



王 緝思 氏



笹川 陽平 氏

プログラム

○ 開会挨拶

坂本恒夫 明治大学副学長（研究担当）

○ 第一部：基調講演 「中国の外交戦略と日本」

王緝思 北京大学国際関係学院院長

〈休憩〉

○ 第二部：対談「今後の日中関係における大学・民間団体の役割」

笹川陽平 日本財団会長

王緝思 北京大学国際関係学院院長

〈モデレーター〉

林振江 明治大学特任教授、北京大学日本研究センター常務理事

[講演者プロフィール]

王緝思（ワン・ジースー），1948年11月広州生まれ。2005年3月より北京大学国際関係学院院長，教授。2007年5月より北京大学国際戦略研究センター長。2001年5月より中国共産党中央党校国際戦略研究所所長を兼任。その他，中国国際関係学会副会長，中華アメリカ学会会長，解放軍国防大学客員教授，雑誌「国際政治研究」編集長など。研究分野は，アメリカ外交，米中関係，国際政治理論。

[講演者プロフィール]

笹川陽平（ササカワ ヨウヘイ），昭和14年 東京生まれ。明治大学政治経済学部卒。1974年よりハンセン病制圧活動に携わり，2001年5月「WHO（世界保健機関）ハンセン病制圧特別大使」に就任。2007年9月には日本政府から「ハンセン病 人権啓発大使」に委嘱され，回復者の自立支援にも力を注いでいる。現在，日本財団会長として，ハンセン病の世界制圧と回復者の人権問題をライフワークとし，日本のみならず世界各国で活躍している。国内外での活動の記録は「日本財団会長 笹川陽平ブログ」でご覧いただけます。

<http://blog.canpan.info/sasakawa/>

主催：明治大学， 後援：明治大学校友会， 連合駿台会

<連絡先>

明治大学 学術・社会連携部 研究・知財事務室 03-3296-4357

明治大学 教育支援部 国際交流事務室 03-3296-4140

<会場案内>

